

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所

紫雲閣

題字 先住興源僧正筆

〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
Tel. 0883-35-2784
ホームページ
<https://saikouji.tokushima.jp>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘



涅槃大法要 無魔成満!



しん寺対号
た。ケとして
トのて、高
結がの野
果り利用山
がな状檀
ありの況信
まア、徒1
に日



しわまてめ
ありのいて
げまごま展
ます指すい
すよ導。り
うご檀たの
お協家い護
願力のと持
いを皆思に
申賜さつ努

じで挙役代
てあさ員長
いれ総に歴
ます、会へこの
す。身にお年西
。た余い11計
責任るて月寺ら
を光〜26のず
感榮推日総

時開
を基西
刻より
んで千
いま三
す。〇〇
。年〇
のの



中井 邦武

総代長あいさつ

た展ういきりま念も厳
いすとの姿、ぬさなく住
とる同こに日努れなく職
思よ時と向々力てお、の
つうにをか、い寺ご日
て力、喜っ寺発まの自々
いをさばての想す仕身
まくし進あるにたに時
。し発思でべよ専間は

て組もばが
いん皆なりお
までさりり寺は
すいまま、は
。きとせ支、私
たい一んえ私
いと緒。てた
思取今いち檀
つり後か檀
とね家

支らま色れとに
援のす々、の檀私
し行。な写繫信た
て事私行経が徒ち、の
ま等た事やり、の
いをちをを住住
り全は進詠大民職
ま面、め歌切、は、
す的こてなに地、
。にれいどさ域既

い希親くの2年程全
ま望し近繫割に度国寺
たしやけりり回6に訪
。てするでま、割はれ
。拳い寺はし2と、る
げ寺、た回最月頻
らな身心。以もに度
れど近や寺下多1で
てがですともく回は

涅槃大法要 無魔成満!

去る平成29年3月12日
さわやかな春空の下、西
光寺では12年ぶりの開催
となるお釈迦さまへの報
恩の法要、涅槃大法要が
営まれました。

真言宗阿波結衆寺院12
ヶ寺が参集し、厳かな声
明（お経）が唱えあげら
れました。数多くの檀信
徒の皆さまが参拝され、
お焼香の列が途切れるこ
とはありませんでした。

法要開催にあたり、西
光寺総代世話人の皆さま
ご近所の皆さま、歌菩薩
の会の皆さま、その他、
すべての皆さまのご尽力
のお陰をもちまして無事
に執行できましたこと、
深くお礼申しあげます。

久千田の空に、素敵な
風が吹きました。ご本尊
さま、皆さま、本当にあ
りがとうございました。

午前の部



法要開始 ご詠歌奉納



ご本尊と結縁



白い布は善の網という



声明「散華」で道場を清める



お釈迦さまへ報恩の焼香



阿波市ケーブルTVも取材

午後の部



明王院曾我部僧正のご法話



熱心に聞き入る檀信徒



聖幢寺原田僧正のご法話



感謝の香りが堂内に満ちる



午後の部 法要



本堂いっぱいの参拝者

西光寺役員紹介

平成29年11月1日付



敬称略

総代長 中井邦武

総代 板東章智

安友勝明

川人芳正

川人秀世

役員の方針を話し合う、

徒代表としてお寺の護持

のためにご尽力くださっ

ております。主な役割は

お寺の方針を話し合う、

ご本尊さまの守護札を届

ける、護持会・お初穂を

集めるなど、お寺と檀信

徒の皆さまのお世話をし

て下さっております。

平成27〜29年物故者

永年に亘り、西光寺役員としてご尽力を賜り、ありがとうございます。

ございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

安友 清 新森 登 板東豊吉

中井庚治 多田 桂 川人一義



会計

安友治夫

川人建介

世話人

板東久志

新森秀明

小山忠行

中井和宏

中井計延

岡田俊武

平島義弘

枝澤利幸

原田忠幸

細川敬雄

森友卓司

楠本福一

田中照明

川人義朗

坂東忠一

田中敏文

藤川経春

枝澤 正

川人秀世

板東夏弥

須見友一

小山恒夫

藤川善昭

金井 功

岩城義人

枝澤安司

川人永治

川人 忠

森友利雄

川人信人

安友 勤

川人良亘

坂東博明

香川保雄

佐藤一男

松村孟官

(ご退任)



涅槃大法要にて



精霊供養法要 開催

平成29年8月27日、夏の行事「精霊供養」が営まれました。檀信徒のうち3年間提灯を吊り終わられた皆さまがご参拝されました。

阿波町五明の西福寺ご住職、稲井隆生僧正さまのご助法によって、役目を終えた盆提灯や蓮華の花、燈籠等が供養されました。

また、歌菩薩の会の皆さまによるご詠歌が奉納され、法要に花が添えられました。

最後に、住職によって故人さまのお戒名が読みあげられ、功德が世にめぐらされました。



住職による法話



護摩供の修法



参拝者の熱心な読経

参与会に 入会しませんか

高野山真言宗参与会は弘法大師のみ教えを守り弘め、お大師さまの衆生救済のご誓願にお応えすることを目的とする信仰団体です。

参与会に入会すると、毎月、高野山教報という新聞が届くことや、高野山参拝時の優待などの会員特典があります。

西光寺では、年に1度定例会を開催し、親睦を深めております。



参与会定例会

お寺の掲示板が 設置されました

涅槃大法要の記念事業としてお寺の駐車場に掲示板が設置されました。

西光寺の行事に限らずさまざまなお知らせを掲示して参ります。

お近くをお通りの際はぜひともご覧下さいませ。設置くださった西光寺護持会の皆さまに心よりお礼申し上げます。



新設された掲示板



太龍寺ロープウェイ

ロープウェイ ケーブルカー で らくらく 参拝

四国八十八カ所21番 四国八十八カ所66番

太龍寺

雲辺寺

こんぴら奥の院

四国八十八カ所85番

箸蔵寺

八栗寺



八栗ケーブルカー

仏事あれこれ
Q & A



Q お線香は何本お供えすればよいのでしょうか？

A 真言宗の場合、お線香の本数は3本です。過去・現在・未来の仏さまに対する供養であるから。或は身体・口・意（心）を清めるために。或は、仏・法（仏の教え）・僧（仏の教えを信じ、伝える者）に供養するため。など、諸説あります。

お香には「清浄にする徳」、お香が燃え続けることは、「精進の徳」があります。お香は、お供物の中で最も大切です。例えば、散歩の途中、キンモクセイの何とも言えない良き香りが漂ってくると、人は引き寄せられます。よきお香の香りに仏さまがおいでになり、供養をお受けになるのです。

お線香は、上品な香りがするもの、よく煙が立つものをお供えしましょう。参考までに、仏さまの好みは1番に伽羅（きゃら）、次に沈香（じんこう）その次に白檀（びやくだん）です。檀家さまのご法事の際、お寺から極上のお香をお持ちしています。

10 α お香炉（お線香立て）のお手入れの仕方

ご法事に何うと、お香炉の中にお線香の燃え残りが散乱していることがあります。ご法事、お彼岸、お盆、お正月などには、お香炉の掃除をしてあげてください。仏前に至り、スツと線香が立ち、仏さまと向合うととても気持ちが良いものです。

①ふるいを用意



②バケツなどを用意



③組み合わせる



④香炉の灰を出す



⑤ふるう



⑥燃えかすを捨てる



⑦きれいな灰をすくう



⑧香炉に戻して完了



<p>仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事</p> <p>ぶつだんのもり</p> <p>お問合わせ、ご注文は ☎(0883)36-1115</p> <p>■〒776-0001 吉野川市鴨島町 牛島字四ツ屋90-1 (かもじま店)</p> 	<p>メガネ・補聴器・宝石・時計</p> <p>ジュエリー サトウ</p> <p>あなたの快適ライフを応援します。</p> <p>阿波町大原11-1</p> <p>☎(0883)35-2306</p> 	<p>料理・ランチ</p> <p>魚安</p> <p>営業日/月～土曜(ランチ火・金曜) 定休日/日曜 営業時間/昼.11:30～14:00 夜.17:00～</p> <p>阿波町庚申原121 ☎(0883)35-7260</p>
--	---	--



講師の田村先生

〈開催〉
 月1回 第1土曜日
 午後1時30分より
 1時間程度

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈参加費〉1千円 / 1回

〈講師〉
 田村誠次(蒼空)先生



般若心経 書の集い



涅槃大法要にてご詠歌の奉納

〈開催〉
 月2回 土曜夜

夏季 午後7時00分より
 冬季 午後6時30分より

〈場所〉西光寺本堂

〈互助会費〉1千円 / 月

〈講師〉住職 澤 善弘



金剛流御詠歌 歌菩薩の会

一唱懸命

ご詠歌の曲紹介

世尊

作詞作曲 前田勉

一、ぜんが 禅河の流れ

音絶えて
クシナの城の
夜は更けぬ

二、沙羅樹にそよぐ
風やみて

天地寂然
聲もなし

三、なんだちうれうる なんだちうれうる
事なかれ

生者必滅
会者定離

いつとも
仰ぐ心の 水すまは

如来のすがた
うつるまはり

南無大恩教主
釈迦世尊



涅槃法要本尊、お釈迦さまのご詠歌です。

夜半、お釈迦さまは、沙羅双樹の林の中で静かにご入滅なさります。弟子たちは最後の説法を聞きに集っています。

この時ばかりは、川に水が流れる音は消え、風も止み、辺りは静まりかえっています。まるで全世界が、ひとりの聖者の最後を息をのんで見守っているようです。

弟子たちよ、何も心配することは無い。生があれば滅があり、出会いがあれば別れがある。これこそ世の真理である。今までに私が伝えた教えを、心のともし火として修行に励みなさい。お前たちの心の中に、私は永遠に生き続けています。

その後、弟子たちにより語り継がれたお釈迦さまのみ教え。これこそが仏教であり、時を超えて遠い東の果て、日本に伝えられているのです。

各宗派葬儀・御法要・花環・籠盛等

セレモニーはやし

阿波町丸山3-2

☎ (0883)35-2073

FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)

市場町山野上字大西181-1

☎ (0883)36-7111

FAX (0883) 36-7035

第64回徳島駅伝

阿波市チームを盛り上げよう!!

1月4～6日開催(5日-地元区間)

選手一同、精一杯走っています!
沿道で応援をお願いします!!
駅伝に興味のある方↓まで
阿波市社会教育課
(0883) 36-8743





仏の智慧 推薦図書

『知識ゼロからの
空海入門』

読み易さ ★★★★★

著者 福田 亮成
出版社 幻冬社

「自分の中の善い心を見つめて、それを広げよう。よき生き方をせよ。」と弘法大師空海は仰っておられます。

密教とは、即身成仏とは、真言とは、曼荼羅とは…がよくわかる、初心者向けの一冊です。

『想像ラジオ』

読み易さ ★★★★★

著者 いとうせいこう
出版社 河出書房新社

死の事実を、どう受けとめればよいのか。生きている者にできることはあるのか。その問いに真正面から向き合う小説。



檀信徒の皆さまへ 護持会・初穂料 ご協力をお願い

当寺では、昭和56年、当時の総代世話人の皆さまの決議により、『西光寺護持会』が発足しました。そして、昭和58年よりお寺の護持・営繕のために、檀信徒の皆さまに毎年浄財を募り、積立をさせていただいております。

皆さまには、護持会費と初穂料の2種類をお願いしております。

護持会費は毎年8千円をお願いしております。
(平成22年までは毎年、1万円でした。)

初穂料は毎年2千円をお願いしております。

護持会費の 使用目的

護持会費は、主に境内及び本堂等の建築物の護持・営繕のため、また12年に1度の大法事(十夜大法会、先祖供養)、涅槃大法要(釈尊への遺徳追慕報恩、先祖供養)等のために使用・積立させていただきます。

初穂料の 使用目的

初穂料は、ご本尊さまと檀信徒の皆さまのご先祖さまに対するお供え料(線香、ろうそく、花、仏飯、供物等)として使用させていただきます。

護持会会計報告

毎年、西光寺役員総会(総代・世話人会)において会計報告を行っております。

護持会会計に関する疑問等がございましたら、地域の世話人さまへお問い合わせください。世話人さまがおられない場合、直接西光寺までお尋ねいただけますようお願いいたします。

西光寺護持会



何でもけいじばん 一樹のかけ 広告募集中☆

「寺だより紫雲閣」に広告を掲載しませんか? この寺報は、当寺にご縁のある全ての皆さまに毎年1回心を込めてお届けさせていただきます。

□掲載料




・西光寺護持会員の方
1口 3千円

・法人、団体等

その他ご縁のある方
1口 5千円



平成30年 お寺の行事予定

1月1日	護摩供 午前11時〜
1月28日(日)	星供開白 
2月3日(土)	星供結願 
6月吉日	弘法大師降誕会 (参与会定例会)
7月	大般若御祈祷 本町北(5日) 本町南(6日) 大次郎・伊勢(第2日曜日)8日 森沢(土用入りの日)20日
8月盆	初盆お参り 
10月21日(日)	弘法大師御影供
11月吉日	法話会(高野山布教師による)
12月31日	護摩供 午後10時〜 大晦日除夜の鐘
毎月	第1土曜(昼)写経 月2回土曜(夜)ご詠歌

西光寺ホームページ 「西光寺 阿波」 で検索!

URL <https://saikouji.tokushima.jp>

住職ブログ『ぜんこーの緩ならず、急ならず』好評更新中!



<h3>大晦日・元旦 護摩供</h3> <p>大晦日 午後10時00分〜 護摩の炎で心を浄める。 元旦 午前11時00分〜 祈願/一願300円</p>		<h3>大晦日除夜の鐘</h3> <p>午後11時20分〜 除夜の鐘がつけます。</p>
---	--	--

編集後記


「心の充電」とよくいいます。忙しい毎日、何もかもを忘れて、身体、心の安息を求めたくありません。しかし、ただ休むのではなく、下敷きをこすれば静電気が起こるように、心が動き回ることで初めて、善き気が全身に満ちてくるのではないのでしょうか。

旅行や読書もよいですが、神社の氏神さま、菩提寺のご本尊さま、ご先祖さまに手を合わせる事。これこそ、自己を見つめ直し、新しい自分へと前進するための智慧を頂く、心の充電となるような気がします。

第4号も最後までお読みくださり、本当にありがとうございます。

善弘拝

平成三十年(二〇一八) 年忌繰出表



ご法事(回忌法会)	ご逝去の年
一 周忌	平成 二十九年
三 回忌	平成 二十八年
七 回忌	平成 二十四年
十三 回忌	平成 十八年
十七 回忌	平成 十四年
二十五 回忌	平成 六年
三十三 回忌	昭和 六十一年
五十 回忌	昭和 四十四年
六十一 回忌	昭和 三十三年

お仏壇のお位牌をお調べください。
ご法事を申し込まれる場合、お早めに寺へ日時・場所等の打ち合わせをご連絡お願い致します。